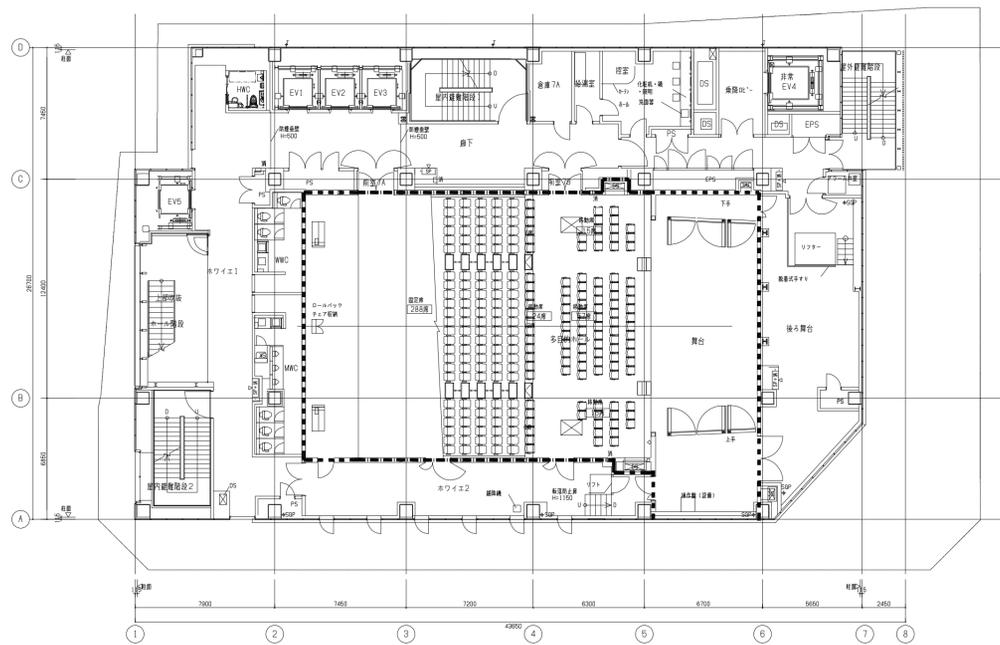


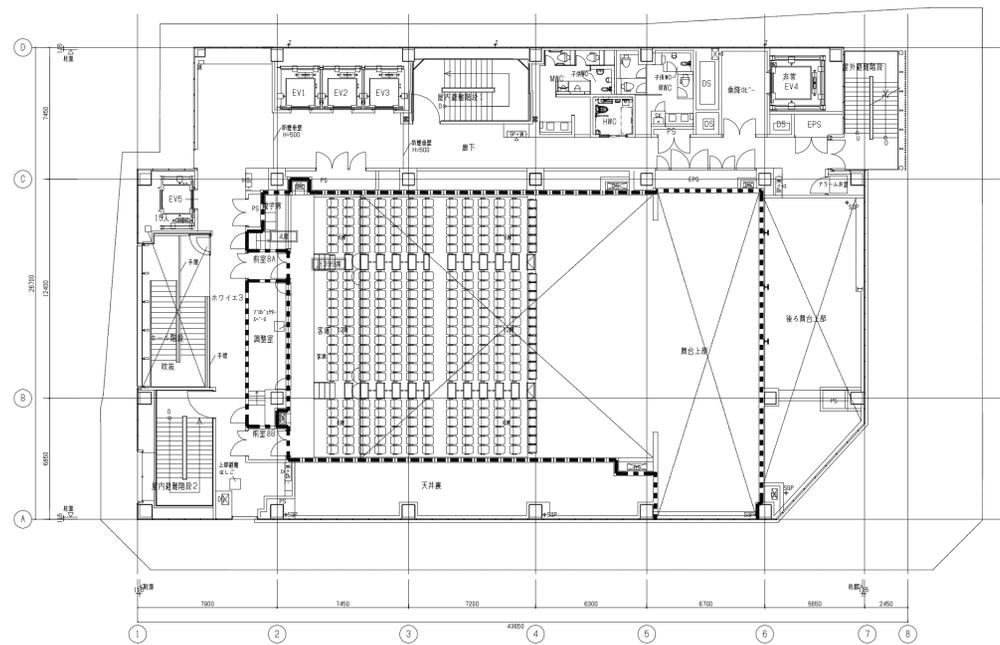
5階平面図



6階平面図



7階平面図



8階平面図

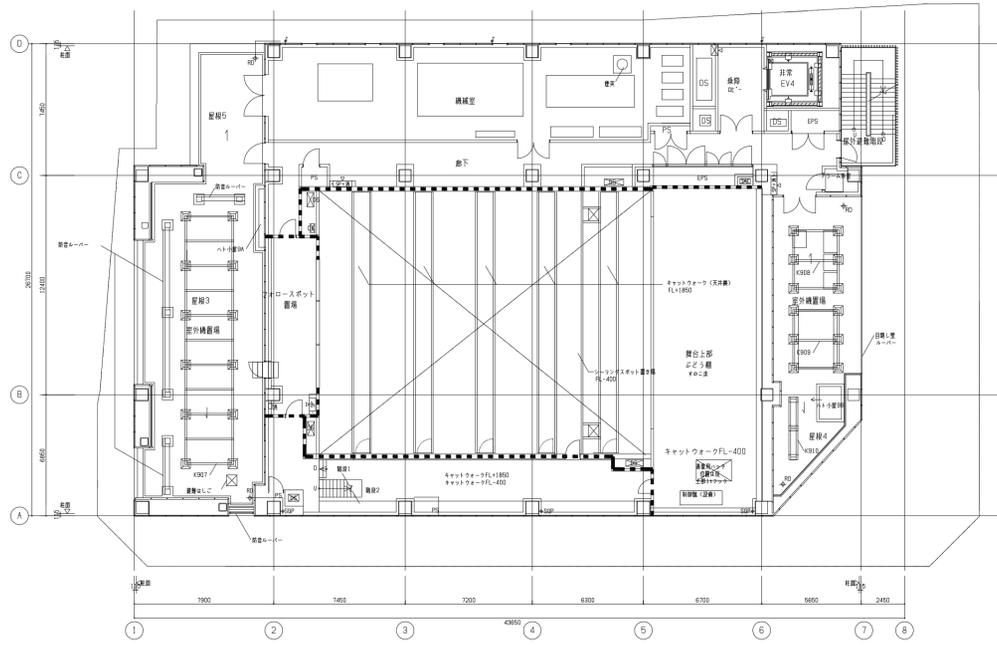
遮音区画貫通処理
凡例

	遮音区画(固定遮音壁+浮遮音壁+仕上壁)
	遮音区画(固定遮音壁+仕上壁)
	遮音区画(固定遮音壁)
	遮音区画(遮音天井+仕上天井)
	遮音区画(天井内大梁側面遮音壁)

注記

- 遮音壁を貫通する配管、ダクトは貫通開口部に遮音コーキング材を充填して隙間をなくすこと。
- 遮音区画の貫通箇所は分散させず極力同箇所にとまらぬこと。

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	遮音区画処理図(1)	図面サイズ: A1
縮尺	NO SCALE	図面番号 No.104 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		株式会社 大建設



9階平面図

遮音区画貫通処理

凡例

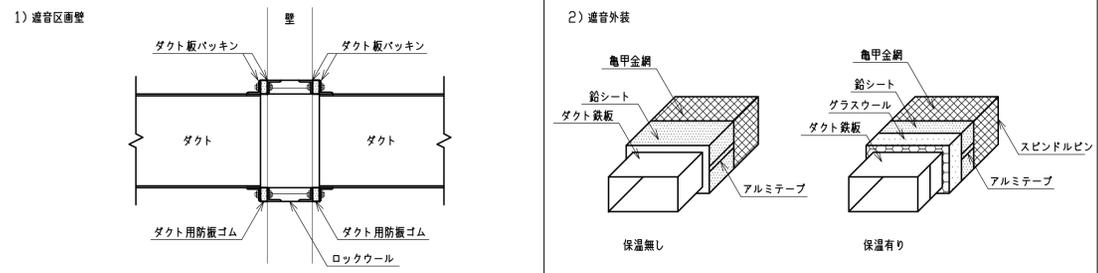
	遮音区画(固定遮音壁+浮遮音壁+仕上壁)
	遮音区画(固定遮音壁+仕上壁)
	遮音区画(固定遮音壁)
	遮音区画(遮音天井+仕上天井)
	遮音区画(天井内大梁側面遮音壁)

注記

- ・遮音壁を貫通する配管、ダクトは貫通開口部に遮音コーキング材を充填して隙間をなくすること。
- ・遮音区画の貫通箇所は分散させず極力同箇所にとめること。

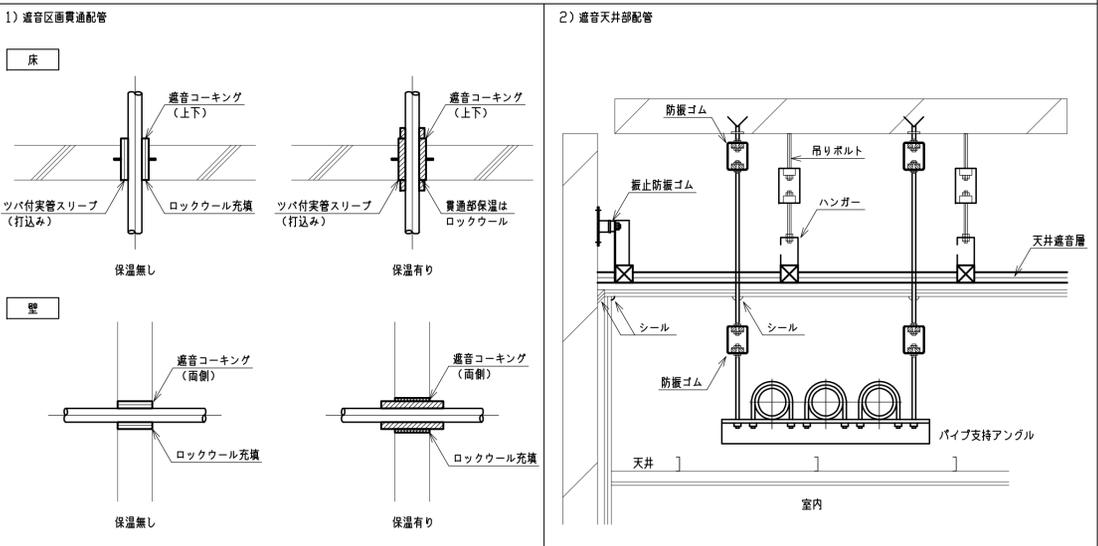


遮音区画のダクト施工



注) ダクトが遮音区画を貫通する両側1m間は鉛シート1.0t-2重巻きとする。

遮音区画及び遮音天井の配管施工



注) 遮音区画のツバ付スリーブは、1.6mm以上の鋼板に幅20mmのつばを溶接したものとする。

注) 1.吊ボルトは、遮音天井の下地物と接触させない。
2.吊ボルトの遮音天井貫通部は、全周隙間を設けポリサルファイドシールを施す。

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	遮音区画処理図(2)	図面サイズ: A1
縮尺	NO SCALE	図面番号 No. 105 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計

1 弁及び栓納箱

単位 mm

部数量
大形 タテ 13ヶ、ヨコ 17ヶ
中形 " 9ヶ、" 14ヶ
小形 " 9ヶ、" 12ヶ

排水栓納箱用は
排水栓と鋼出し

大形 4
中・小形 3

製造業者名鋼出し

形式	呼び寸法	A	B	C	D	E	F	G	H	I	K	L	M
大形	360x290	360	290	400	330	40	13	8	100	10	10	30	356
中形・排水栓用	300x200	300	200	340	240	25	13	7	150	8	8	25	296
小形	225x165	225	165	265	205	25	12	6	150	8	8	25	225

M	P	S	T	Y	X	不表示マス目 (a)	止水栓 排水栓	表示マス目 (b)	使用区分 (標準)	参考重量 (kg)	
286	6	13	8	7	7	3ヶx 2ヶ	2ヶ	7ヶx 3ヶ	2ヶ	65φ以上の仕切弁	27
196	5	13	7	7	6	2ヶx 2ヶ	2ヶ	2ヶx 8ヶ	2ヶ	30φ~50φの仕切弁、止水栓用	14
181	5	12	6	6	5	2ヶx 2ヶ	2ヶ	2ヶx 8ヶ	2ヶ	25φ以下の仕切弁、止水栓用	11

(注) 1. ふた及び箱は FC 200 以上の鋼鉄製とする。
2. 塗装は合成樹脂塗料仕上げとする。
3. 鋼径は 4φとする。

2 散水栓、弁ボックス施工要領図

単位 mm

排水栓
排水目皿 30
50 100 300x200 100 50
散水栓
散水栓ボックス
コンクリート
砂利又は砕石敷
排水管 30
給水管 Y

散水栓ボックス

弁蓋
モルタル
(レンガ積みの場合)
レンガ積み又はコンクリート
弁本体
捨てコンクリート
給水管
砕石又は砂利

バルブボックス

形式	配管口径	A	B	H	h	備考
大形	65φ以上	360	290	100	400	
中形	30φ~50φ	300	200	150	50	
小形	25φ以下	225	165	150	50	

散水栓用

形式	呼び寸法	A	B	H	h	備考
大形	360x290	360	290	100	400	
中形	300x200	300	200	150	50	
小形	225x165	225	165	150	50	

3 防臭ふた (1/2)

単位 mm

重荷重形の表示枠(一般形の場合は不要)

製造業者名鋼出し

鋼径高さ 12φ/a

製造業者名鋼出し

4 防臭ふた (2/2)

単位 mm

A-A' 断面図
D
C
勾配 1/30
勾配 1/30
鋼径高さ 10φ/a

C部詳細図
大阪市章図
鋼径高さ 10φ/a

呼び寸法	D1	D0	D	B	H	h	E	F	K	L	M	N	P
300	300	410	391	430	45	10	20	12	8	135	8	75	70
450	450	565	546	585	47	11	25	15	10	205	9	135	95
600	600	720	701	740	50	12	28	16	10	280	10	195	100

Q	S	T	t	U	不表示マス目 (c)	円鋼径マス目 (d)	鋼径長さ	鋼径	参考重量 (kg)		
30	20	8	7	180	3ヶx 3ヶ	2ヶ	2ヶx 3ヶ	2ヶ	300	6	25
30	20	10	8	305	3ヶx 3ヶ	2ヶ	2ヶx 3ヶ	2ヶ	450	6	48
35	22	12	9	437	5ヶx 5ヶ	2ヶ	2ヶx 3ヶ	2ヶ	600	6	79

(注) 1. ふた及び枠は鋼鉄製とし、塗装は合成樹脂塗料仕上げとする。
2. 鋼鉄材料で一般形は FC 200 以上、重荷重形は FCD 500 以上とし、重荷重形については、ふたの指定箇所に FCD と鋼出す。

5 B1形汚水会所樹

単位 mm

防臭ふた
コンクリート
防水モルタル
管内径 φ1/2
ならしコンクリート
砂利又は砕石敷

底部平面図
R=A-(50+D)
R=A-(50+D)
R=A-D/2

(注) 円は B1形汚水会所樹の場合を示す。

記号	B	H	防臭ふた呼び寸法	備考
B1-ア	300 x 300	300	300	
B1-イ	300 x 300	310 ~ 450	300	
B1-ウ	450 x 450	480 ~ 600	450	
B1-エ	600 x 600	610 ~ 750	600	
B1-オ	600 x 600	760 ~ 900	600	
B1-カ	600 x 600	910 ~ 1050	600	
B1-キ	600 x 600	1060 ~ 1200	600	

(注) 1. コンクリートは複合板形枠を使用し打放しとする。

6 B2形汚水会所樹

単位 mm

防臭ふた
足掛
JIS 鋼塊 600C
(900φx 900φx 600L)
JIS 鋼塊 900A
(900φx 300L)
又は 900B
(900φx 600L)
D13 円環 (他は D10)
鉄筋入りコンクリート
D13 円環 (他は D10)
管内径 φ1/2
ならしコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷
防水モルタル

記号	H	防臭ふた呼び寸法	使用する鋼塊	備考
B2-ク	1210 ~ 1500	600	600C	
B2-ケ	1510 ~ 1800	600	600C・900A	
B2-コ	1810 ~ 2100	600	600C・900B	
B2-サ	2110 ~ 2400	600	600C・900A・900B	

(注) 1. 現場打ちコンクリート部分には、D10 鉄筋を 200 mm 間隔に配筋する。
2. コンクリートは複合板形枠を使用し打放しとする。
3. 適当な足掛金物を設ける。(防錆処理を行った 22φ鋼製)
4. 鋼塊は JIS A 5317 下水道用マンホール鋼塊とする。
5. 鋼塊の接続部は防水モルタル接合とする。
6. 鋼塊は、片面斜壁でもよい。この場合は製造者の標準とするが、材料・品質・試験は、JISに準じたものとする。

7 A1形排水会所樹

単位 mm

防臭ふた
足掛
JIS 鋼塊 600C
(900φx 900φx 600L)
JIS 鋼塊 900A
(900φx 300L)
又は 900B
(900φx 600L)
D13 円環 (他は D10)
鉄筋入りコンクリート
D13 円環 (他は D10)
管内径 φ1/2
ならしコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷
防水モルタル

コンクリートふた(既製品鉄筋入)
コンクリートブロック枠
コンクリート
敷モルタル
砂利又は砕石敷

記号	B	H	ふた厚さ (T)	D
A1-ア	300 x 300	300	60	400
A1-イ	300 x 300	310 ~ 450	60	550
A1-ウ	450 x 450	480 ~ 600	80	700
A1-エ	600 x 600	610 ~ 750	80	850
A1-オ	600 x 600	760 ~ 900	80	1000
A1-カ	600 x 600	910 ~ 1050	80	1150
A1-キ	600 x 600	1060 ~ 1200	80	1300

(注) 1. コンクリートは複合板形枠を使用し打放しとする。
2. ふたの鉄筋は 6φとする。

8 A2形排水会所樹

単位 mm

防臭ふた
足掛
JIS 鋼塊 600C
(900φx 900φx 600L)
JIS 鋼塊 900A
(900φx 300L)
又は 900B
(900φx 600L)
D13 円環 (他は D10)
鉄筋入りコンクリート
D13 円環 (他は D10)
管内径 φ1/2
ならしコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷
防水モルタル

鉄筋入りコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷

記号	H	防臭ふた呼び寸法	使用する鋼塊	D
A2-ク	1210 ~ 1500	600	600C	1650
A2-ケ	1510 ~ 1800	600	600C・900A	1950
A2-コ	1810 ~ 2100	600	600C・900B	2250
A2-サ	2110 ~ 2400	600	600C・900A・900B	2250

(注) 1. 現場打ちコンクリート部分には、D10 鉄筋を 200 mm 間隔に配筋する。
2. コンクリートは複合板形枠を使用し打放しとする。
3. 適当な足掛金物を設ける。(防錆処理を行った 22φ鋼製)
4. 鋼塊は JIS A 5317 下水道用マンホール鋼塊とする。
5. 鋼塊の接続部は防水モルタル接合とする。
6. 鋼塊は、片面斜壁でもよい。この場合は製造者の標準とするが、材料・品質・試験は、JISに準じたものとする。

9 T形トラップ会所樹

単位 mm

防臭ふた
足掛
JIS 鋼塊 600C
(900φx 900φx 600L)
JIS 鋼塊 900A
(900φx 300L)
又は 900B
(900φx 600L)
D13 円環 (他は D10)
鉄筋入りコンクリート
D13 円環 (他は D10)
管内径 φ1/2
ならしコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷
防水モルタル

流入管
流出管
防臭ふた
防臭ふた
D13 円環 (他は D10)
鉄筋入りコンクリート
捨てコンクリート
砂利又は砕石敷

記号	A x B	H	C	E	I防臭ふた呼径
T-ア	450 x 450	480 ~ 600	1290	690	450
T-イ	600 x 600	610 ~ 750	1590	840	600
T-ウ	600 x 600	760 ~ 900	1590	840	600
T-エ	600 x 600	910 ~ 1050	1590	840	600
T-オ	600 x 600	1060 ~ 1200	1590	840	600

(注) 1. 現場打ちコンクリート部分には、D10 鉄筋を 200 mm 間隔に配筋する。
2. コンクリートは複合板形枠を使用し打放しとする。

10 下水道用硬質塩化ビニル製ます(小口径樹)

単位 mm

規格	日本下水道協会規格品
使用範囲	重荷物(車両等)がのらない場所
ます径	排水管渠の内径が 100mm以下とき、150mm以上 排水管渠の内径が 150mm以下とき、200mm以上
接続形式	接着接合
密閉ふた	ターンアップ式の受口形または受口形
基礎	地盤を十分に突き固め砂基礎(10cm)を設置

設置参考図
硬質塩化ビニル製ふた
立上り部 (V)
底部(汚水ます底部)
流入管 (V)
砂基礎

11 鋼鉄製防護ふたの設置例(小口径樹)

単位 mm

蓋寸法	A	B	C	D	E	F
150φ用	φ215	φ200	φ180	φ180	φ227	φ400
200φ用	φ276	φ260	φ240	φ240	φ283	φ480

日本下水道協会規格品(防臭等)の通行する距離 T=25 T=14

鋼鉄製防護ふた(FCD600)
鋼鉄(FCD600)
螺蓋(FCD600)
台座
砕石(C20) 700x700程度

工事名称 (仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事 令和元年度
図面名称 弁納箱、樹類 図面サイズ: A1
縮尺 NO SCALE 図面番号 No. 106 (106 枚の内)

大阪府都市整備局 企画部
公共建築課 (設備グループ)

株式会社
大建設